

パチスロ増台で勝負に出る カツヨシ商事の新ブランド



プチパチと名付けられた低貸しコーナー。休日は7時の開店時間から、地元高齢客が押し寄せるとか



女性スタッフの制服も、すべて新しく

育成中の「ハナハナ」(16台)コーナー。パチスロは全台各台計数機



**パチスロ一挙1000台追加
攻めの姿勢を前面に**

宮城県東部の太平洋岸に位置し、仙台市に次ぐ人口(約14万人)を有する石巻市。東日本大震災で大きな被害を受けるも、8年が経過し、かつてのにぎわいも回復しつつある。

そんな同市で、昨年12月14日にリニューアルオープンをしたのが、宮城県を中心に「メルヘンワールド」の屋号で15店舗を展開するカツヨシ商事の新ブランド、「スーパーメルヘンワールド石巻店」(832台)だ。

「2011年から毎年、店舗数の拡大を続ける当社の、新規出店とは違う、攻めの姿勢の表れ」と話すのは、同店を差配する我妻義明店長。

「スーパー」を屋号にプラスしたのも、この一環。その姿勢は、パチンコ、パチスロ全台での各台計数機導入や、「スーパーリノXX」エリア最多設置(17台)など、台数規模を生かした、挑戦的な機種構成からもうかがえる。

中でも、一挙1000台の増台でエリア最多となったパチスロは、「ここで勝負する」という店長の意思の表れだ。

**市場は埋もれている？
「ハナハナ」育成に注力**

現在の稼働は、パチンコ、パチスロともに、平日昼のピークが約4割。帰宅客が来店する夜8時以降や、土日・



リニューアルに際し、従来の「赤」から「青」にイメージカラーを変更した4パチコーナー



DATA

- 所在地
宮城県石巻市
茜平1-2-4
- リニューアルオープン日
2018年12月14日
- 経営
㈱カトヨシ商事
- 代表者
琴亮吉氏
- 店舗数
15店舗
- 総台数
832台
(うちパチスロ274台)



三陸自動車道出口から望む「石巻店」(写真右)。周辺はイオンやイトーヨーカドーなど、市内有数の商業集積地

休日になると、6割近くにまで伸びるという。

「稼働の中心は、ジャグラーと旧基準機。次の〆柱をどう育成していくか、候補を検討している最中です」と話す我妻店長。今、取り組んでいるのが、「グレートキングハナハナ30」(16台)など、30〆機の育成だ。

リニューアル前、競合店で「沖ドキ！」が安定稼働を見せていたことから、自店での反応を見るため、「沖ドキ！バケーション」(3台)をトリアルで導入。常連客の中から熱心なファンが生まれたことで、「石巻には、まだ30〆市場が眠っているのでは…」との感触を得ている。

リニューアルに際しては、さらなるユーザーの獲得を目指し、カウンター裏の増台島に「ハナハナ」を設置。顧客本位の営業でアピールに努めたことで、「お客さまの反応もよく、高稼働を維持している。このまま、順調に育ってくれば」と期待を込める。

一方、パチンコは、漁業関係者が多い土地柄かゆえか、「ぼちんこ新・鬼武者超・蒼剣」や「CRぱちんこ仮面ライダーフルスロットル 闇のバトルVer.」など、射幸性が高めの機種に、ユーザー支持が集まっているとか。

目標は当然、地域一番店。

「実客数で他店を上回っているものの、稼働率で見ると台数差もあり、トップに1歩、届いていません。客数、稼働、台数、設備など、すべての面で、一番店を目指したい」と意気込んだ。